



渚滑っ子

教育目標：人間性豊かな児童の育成

～自ら気づき、自ら考え、自ら行動する子～

令和6年3月22日発行

文責：校長 佐藤 進也

「これでいいのだ！」…自分を大切にできる心

令和5年度の教育活動も本日をもって終了し、学年の終わりという節目を迎えました。今年度は「関わり合える子」というテーマのもと、教育活動を進めてきました。新型コロナウイルスが5類になり、ほぼコロナ禍前と同様の取組を行いました。しかし、今までと同じではなく、時代に即した取組に更新させてきました。保護者のみなさまからは「人前での発言や行動が増え、積極的なところが成長したように思います。また、先生が様子を見ながらも見守ってくださるおかげさまで、お友達同士でどうしたら仲良くできるか、自分で考え、行動できる力が付きました。」(学校評価保護者アンケートから)など、子どもたちの成長を見ていただき、また、「いつも親身に接して下さってありがとうございます。子どもから学校のことを聞くと先生たちの名前がたくさんあがっています。この1年で「自分の意見をはっきり言える」ようになったことが成長を感じています。」(学校評価保護者アンケートから)など、学校に対する温かい評価をいただいたことが励みとなっております。改めて感謝申し上げます。

さて、本日は第76回卒業証書授与式でした。卒業式の式辞の中で、卒業生に次のメッセージを送りました(一部を紹介いたします)。

【贈る言葉…「これでいいのだ！」(赤塚不二夫)】

現実のままならない うまくいかないことばかり 毎日がほとんどよくないことの連続だ！
自分を責めて 誰かを責めて 何かを責める そしてやっぱり自分を責める だけど
確かめてみる価値がある 「これでいいのだ！」の言葉の力を信じてみる価値がある
あなたはあなたのままで いいのだ！

楽しいこともあれば苦しいこともあり、なかなか思うようにいかないことが多いのがこの世の中です。しかし、うまくいなくても意外と何とかなることの方が多いのです。ただ、そこに気付けるようになるには時間がかかるかもしれません。なぜなら、今を必死に生きているからです。それでも、自分自身と向き合うこと、自分自身を信じることは自分にしかできません。どうか、自分を大切にできる心を持ち続けてください。(後略)

卒業生に贈った言葉ですが、在校生全員に贈った言葉でもあります。令和6年度の重点教育目標(目指す子どもの姿)は「**気付き、築く子**」です。この言葉に込める願いは、「**自分に気付く(自分を知る)**」「**自分を高める(築く)・人とのつながりを大切にする(人間関係を築く)**」です。相手の存在を認め、その上で相手との関わり方を学んでいく中で、自分の心の中に「これでいいのだ！」が芽生えることを願っています。自分は自分でよい。ゆったりと構える心の余裕ももたせたいと考えています。

保護者や地域、関係機関の皆様には、1年間、本校の教育活動にたくさんのお力添えを賜りましたことに改めてお礼を申し上げます。一人一人の子どもたちの存在を受け止め、認め、支えていくために職員一同、これからも教育活動を充実させていく所存です。4月からも「**気付き、築く子**」をはぐくむために、改めてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。